

公立小学校の通常学級における性教育の実践研究 ～低学年における性教育につながる授業実践～

教育実践開発コース 岡田優佳 3204003A(k204003A@mails.cc.ehime-u.ac.jp)
指導教員：藤田昌子・一色芳枝

研究の背景

- 性暴力や性被害の予防や対処に関する教育については、諸外国における取組や、刑法の性交同意年齢が16歳であることとの関係を踏まえると不十分との指摘がある。
- 性に関する指導に苦手意識をもっている教員が多い。(岡田2022)
- 年齢に応じた性教育等を行うことが重要である。

研究の目的

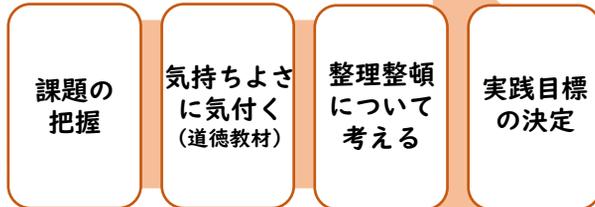
児童の実態を踏まえた上で、発達段階に応じた性教育を検討及び実践し、その教育的効果と課題について明らかにする。

研究の方法

- 教材開発及び授業実践
- ワークシートや実践カードの記述分析による教育的効果の検討

～身の回りを整えよう～

授業実践①

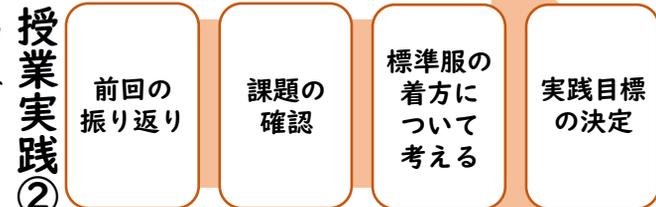


対象：小学校2年生

R5.12.17 実践

～身だしなみを整えよう～

他者意識



対象：小学校2年生

R6.1.25 実践

【結果】

- ①目標 達成率100%…77.1% それ以外…22.9%
- ②自己評価 大成功…88.6% まだまだ…11.4%
- ③継続の意思…35人中4人→18人 (51.4%)

【成果】

- 関心や気付きの高まり → 他者への関心
 - ・トイレのスリッパが整っている状態 **増**
 - ・落とし物に気付き、拾い、全体へ声をかける様子 **増**
- 授業と実践の効果的な関連
 - ・授業：知る機会 → 実践：気付きを高める機会

【課題】

- ・継続に向けた意欲を授業内や授業後に高める必要性
- ・事後指導の更なる充実

【結果】

- ①目標 達成率100%…76.7% それ以外…23.3%
- ②自己評価 大成功…89.7% まだまだ…10.3%
- ③継続の意思…30人中4人→16人 (53.3%)

【成果】

- 服装を整えることと気持ちよさの結び付き
 - ・自分がきれいになるといい気持ちになってもっともっと自分をきれいにしたいです。(実践後の振り返り抜粋)
- 他の場面(家庭等)との結び付き
 - ・家やお出かけするときもふくそうをきれいにしたいです。(実践後の振り返り抜粋)

【課題】

- ・授業後(実践中)の学校生活の中における言葉かけ等 → 日々の中で意識をもたせる必要性

【考察】 ・気づく機会、知る機会に ・実践→継続の意思 ・他者意識の芽生え

児童の感想

- ・ピカピカ大きくせんでみんながえがおになるようにみんなできょうりよくして教室をピカピカにしたいです。
- ・きれいとはおぼろしくしかったけどこのじゅぎょうをしてよくわかりました。

児童の感想

- ・ふくをととのえてこんなにきもちがいいだなんてしりませんでした。つぎからもがんばりたいとおもいます。
- ・ふくそうのととのえ方やどうやったらきれいになるかとかをまなんで自分が気をつけることがわかったのでよかったです。

次年度の展望

○授業実践

- ・「プライベートゾーン」対象：3年生(令和6年度)
…水泳授業に向けて行う
更衣の際に大切なところを見せない&見ない(自分も相手も大切に)
- ・配属学級あるいは配属学年にて性教育に関連する授業実践を行う

○授業の分析

- 性に関する指導の意識調査等(アンケート調査)(対象：教員)

